

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先 460
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名 平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名 平本 悟
事務事業名	道路境界確定業務				
予算上の事務事業名	道路境界確定事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32320	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第3節 円滑な道路交通の確保				
施策名	第2施策 道路管理の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度		
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
道路管理するうえで、道路敷と隣接する土地との境界確定を行うため、隣接土地所有者と立会協議を行い官民境界を確定する業務である。				隣接土地所有者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
平成18年度道路境界確定申請件数72件で内22件を境界確定業務で対応を図った。 道路境界確定業務委託(その1～3)確定図作成 1,667m 現地調査 5,665m 道路境界確定件数 22件					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	6,592	8,000	8,000
一般財源	0	0	6,592	8,000	8,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	0	0	14,642	16,050	16,050
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	道路境界確定委託事務			対象名称 と単位	境界確定件数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	14,642	16,050	16,050
対 象 数	0	0	22	25	25
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	665,545	642,000	642,000
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.96	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	道路境界立会実施件数（件）	指標式と指標の説明	道路境界立会実施件数 / 道路境界立会申請件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	22.0		
目標	0.0	0.0	22.0	25.0	25.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	道路境界確定率（％）	指標式と指標の説明	道路境界立会確定件数 / 道路境界立会申請件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・B : 妥当性に課題がある・C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・B : 有効性を高める余地がある・C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・B : 効率性を高める余地がある・C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 委託業務の早期発注			1 5 課題として認識されたこと 公共嘱託登記土地家屋調査士協会への委託の可能性の検討		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。					